

自主臨床研究

循環動態研究グループ

小児心不全における血行動態解析に関する研究

研究の対象

小児期発症心不全患者における临床上必要であり、すでに行われた検査情報と診療録情報（特にコンダクタンスカテーテル検査とそれに伴う心臓カテーテル検査に関する検査・診療情報）

研究目的・方法

心不全は、小児においては主に特発性心筋症や先天性心疾患等の原因により、心機能の低下を認める病態である。近年、様々な薬物療法が利用可能であるが根本治療は困難である。しかし、これまで心筋症や先天性心疾患に伴う小児心不全、あるいは移植後心において、心室圧-容量曲線の特徴や、抗心不全薬、補助人工心臓など各種治療に対する治療反応性という点での心室の動的変化は明らかになっていない。そこで本研究では、臨床診療上必要不可欠である心臓カテーテル検査を行う際に、心室の圧と容量を同時に計測するコンダクタンスカテーテルを左心室あるいは右心室に挿入し、圧容量曲線を描出する検査を行うことで、より詳しい心臓の生理学的機能についての解析を行う。さらに、通常診療で得られる検査データについて、診療録よりデータ抽出を行うことで、これまでの臨床検査との整合性を検証する。診療録に基づく臨床症状や理学所見、疾患名、年齢、治療などが解析の対象となる。検査データとしては、血液・尿検査データ、CT検査、MRI検査、エコー検査、心臓カテーテル検査、心筋生検などの病理検査、核医学検査、心電図や呼吸機能などの生理学的検査等を解析対象とする。これらのデータは全て匿名化されたうえで解析される。

研究に用いる

試料・情報の種類

心臓カテーテル検査、コンダクタンスカテーテル検査から得られた血行動態データ。 診療情報、各種臨床検査で得られたデータ

研究期間

申請の承認日から2025年2月28日までを予定

外部への試料・情報の提供

予定なし

研究終了後について

予定された研究期間の終了後も再申請により研究機関が延長されることがあります。研究の成果は、学術集会や学術論文で公表されることがありますが、個人情報は秘匿されます。

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2
大阪大学大学院医学系研究科小児科学

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2
大阪大学大学院医学系研究科小児科学